


# わるーい オオカミの子

作・絵 むらかみさき



わるーい  
オオカミの子

作・絵 むらかみさき



ふかい ふかい もりのなかに、  
あるいっぴきの オオカミの こどもが  
すんでいました。

「ぼくは わるーい オオカミのこ」  
「ねえ、してる？ オオカミって  
わるいことが とくいなんだって」  
オオカミは ちかくの きぎにむかって、  
そう じまんげに かたりました。

もりは いつものように  
だまって きいています。



「ぼくの パパはね、むかし、  
ぶたのいえを みつとも こわしたんだ！ こわ~い！」

オオカミのこは、パパの まねをして  
びゅーっと いきを ふいてみせました。  
すると このはが ザワザワゆれました。



「ぼくの ママはね、むかし、  
あかいふくの おんなのこを だまして、  
おばあちゃんを たべたんだ！ ヒエ〜！」

そういうと、オオカミのこは  
ママの まねをして おおきな おくちを あけてみせました。  
もりは しずまりかえりました。





ためしよみ

は

ここまでです